

令和2年度 淀川本部管内 事業概要

未来へつなごう
びわ湖・よど川の水



独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社淀川本部

独立行政法人水資源機構の使命

私たちは、ダムや水路などの施設を適切に建設・管理することにより、国民生活になくてはならない「水」の安定供給を行うとともに、みなさまの暮らしを守っています。



水道用水

浄水場に水を供給し日本の人口の約半数のみなさまが居住する地域で、水道用水に利用されています。

農業用水

農業用水が不足する地域に水を安定的に供給し、農業生産性の向上を支えています。

工業用水

工業製品の原料、冷却水、洗浄水として利用され、産業の発展に寄与しています。

それが水資源機構の仕事です

「安全で良質な水を安定して安くお届けする」



矢木沢ダム



洪水調節

台風などによる洪水の氾濫被害からみなさまの生活を守っています。

渇水対策

少雨により、河川の流量が減少しても、下流で安定して取水できるようダムから水を補給しています。

河川環境

ダムから河川に維持用水を供給することで、河川環境を保全しています。



武蔵水路



7水系に広がる水資源機構の施設

機構事業

水資源機構は、水資源開発水系として指定されている7水系（利根川、荒川、豊川、木曾川、淀川、吉野川、筑後川）において、改築などの重複を除く事業により建設した53施設（31ダム等、水路総延長約3,000km）を管理し、12の事業を実施しています。

● 施設
■ 実施中事業

筑後川水系

- 1 両筑平野用水
- 2 寺内ダム
- 3 筑後大堰
- 4 筑後川下流用水
- 5 福岡導水
- 6 大山ダム
- 7 小石原川ダム
- 8 福岡導水施設地震対策

吉野川水系

- 1 早明浦ダム
- 2 池田ダム
- 3 香川用水
- 4 新宮ダム
- 5 旧吉野川河口堰
- 6 高知分水
- 7 富郷ダム
- 8 早明浦ダム再生

淀川水系

- 1 淀川大堰
- 2 高山ダム
- 3 青蓮寺ダム
- 4 正蓮寺川利水
- 5 室生ダム
- 6 初瀬水路
- 7 一庫ダム
- 8 琵琶湖開発
- 9 布目ダム
- 10 日吉ダム
- 11 比奈知ダム
- 12 川上ダム

木曾川水系

- 1 愛知用水
- 2 岩屋ダム
- 3 木曾川用水
- 4 阿木川ダム
- 5 三重用水
- 6 長良川河口堰
- 7 味噌川ダム
- 8 長良導水
- 9 徳山ダム
- 10 木曾川水系連絡導水路
- 11 木曾川右岸緊急改築
- 12 愛知用水三好支線水路緊急対策

豊川水系

- 1 豊川用水
- 2 豊川総合用水
- 3 豊川用水二期

利根川水系・荒川水系

- 1 矢木沢ダム
- 2 利根導水路
- 3 印旛沼開発
- 4 下久保ダム
- 5 群馬用水
- 6 利根川河口堰
- 7 草木ダム
- 8 北総東部用水
- 9 成田用水
- 10 東総用水
- 11 奈良保ダム
- 12 霞ヶ浦用水
- 13 埼玉合口二期
- 14 霞ヶ浦開発
- 15 浦山ダム
- 16 房総導水路
- 17 滝沢ダム
- 18 思川開発
- 19 房総導水路施設緊急改築
- 20 利根導水路大規模地震対策
- 21 成田用水施設改築
- 22 藤原・奈良保再編ダム再生

※丹生ダム…事業の廃止に伴い追加的に必要となる工事を実施中。

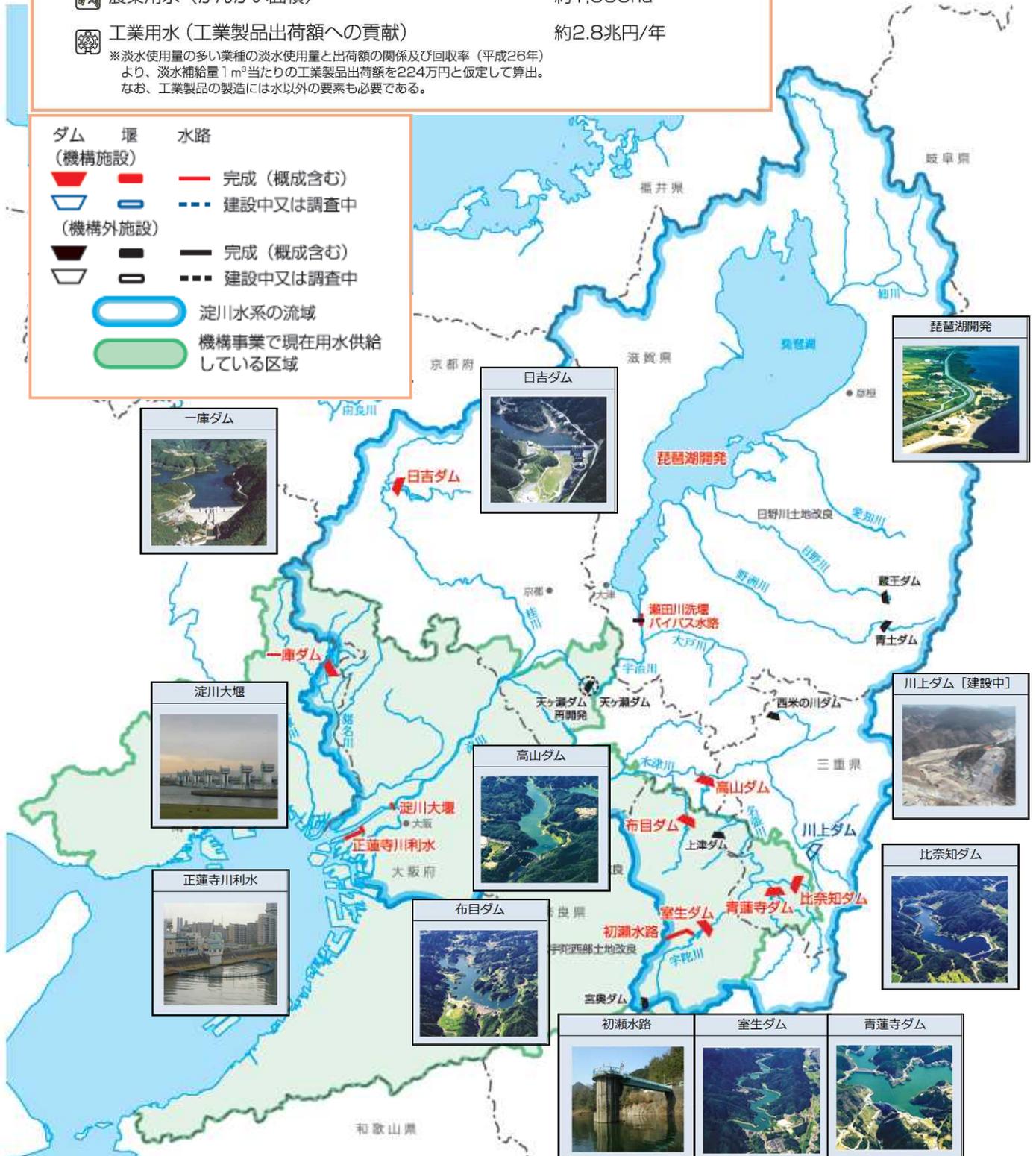
淀川水系における水資源機構施設

淀川流域は、日本最大の湖である琵琶湖をかかえ、流域は三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良の2府4県にまたがり、流域内人口は、約1,700万人、流域面積は8,240km²に及びます。水資源機構では、淀川水系において、11施設の管理及び1施設の建設をしています。

利水貢献

-  水道用水（給水可能人口） 約1,300万人相当
※1人1日当たり平均水使用量=332ℓ（平成26年）より算出。実際の給水人口とは合致しない。
-  農業用水（かんがい面積） 約1,000ha
-  工業用水（工業製品出荷額への貢献） 約2.8兆円/年
※淡水使用量の多い業種の淡水使用量と出荷額の関係及び回収率（平成26年）より、淡水補給量1m³当たりの工業製品出荷額を224万円と仮定して算出。なお、工業製品の製造には水以外の要素も必要である。

- | ダム
(機構施設) | 堰 | 水路 |
|---|--|---|
|  |  |  完成（概成含む） |
|  |  |  建設中又は調査中 |
| (機構外施設) | | |
|  |  |  完成（概成含む） |
|  |  |  建設中又は調査中 |
|  淀川水系の流域 | | |
|  機構事業で現在用水供給している区域 | | |



淀川における水資源機構の水資源開発

淀川は、日本最大の湖である琵琶湖を源とし、木津川、桂川と合流し、大阪平野を貫通して大阪湾に注ぐ我が国屈指の大川であり、その流域は古くから拓け、日本の政治・経済・文化の中心として栄えてきました。

戦後の産業の発展や人口の都市集中などにより、京阪神を中心に水需要が増大し、都市用水等の確保が緊急的課題となりました。このため、淀川は昭和37年4月水資源開発促進法による水系指定がなされ、同年8月に水資源開発基本計画が決定されたことにより、水資源開発公団事業が実施されることになりました。

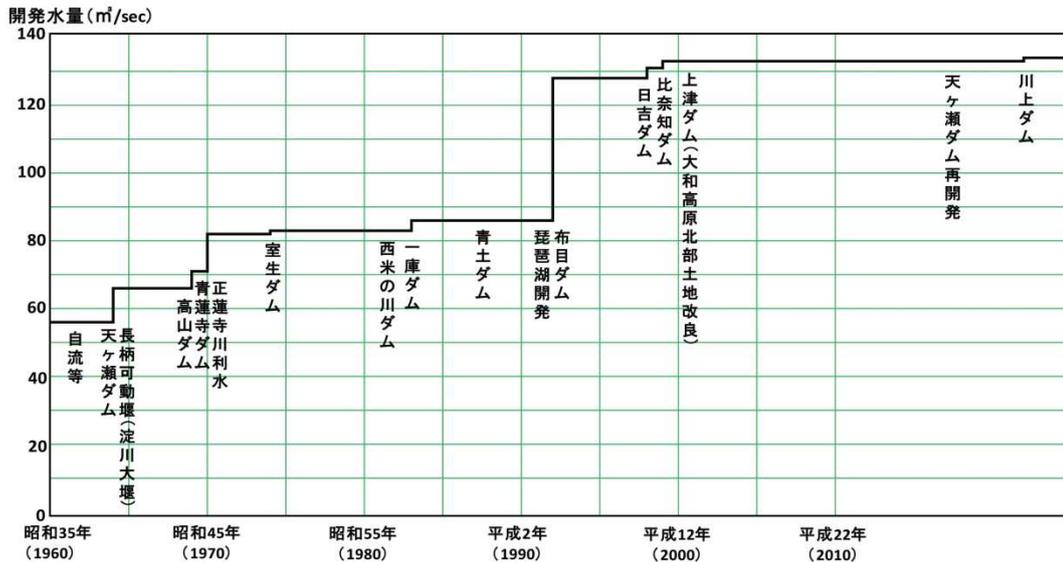
淀川水系における水資源開発基本計画は、昭和37年に決定されて以来、水需要計画の見直し、ダム計画等の追加、工期の延長等により、その一部または全部が変更されてきました。これらの変更に基づき、水資源開発公団関西支社

(現水資源機構関西・吉野川支社)では、長柄可動堰(後に完成した淀川大堰にその機能を代替)、高山ダム、青蓮寺ダム、正蓮寺川利水、室生ダム、初瀬水路、一庫ダム、琵琶湖開発、布目ダム、日吉ダム及び比奈知ダムを完成させました。これらを水資源開発施設として管理、運用しているところです。

また、現在は川上ダムの建設を実施しているところです。

これらの水資源開発施設による開発水量が、淀川水系に係る約1,300万人相当の水道用水と年間約2兆8,000億円の工業製品出荷額に貢献しています。

■ 淀川水系の水資源開発計画 (フルプラン地域の都市用水：H28.1.22 一部変更による)



■ 淀川水系における開発水量の現状と機構事業によるシェア (令和2年4月現在)

(単位:m³/s)

水系名	機構	現行基本計画前の開発水量 (注1)	現行基本計画					
			計画期間	供給目標量	決定供給施設による開発水量 (注2) (注3)		開発水量	
					工事調査中	完成	計	機構シェア (注5)
淀川	全体	77.766 93.974	5次 -H27	約134 (約111) (注4)	0.358 0.958	0.000 0.000	78.124 94.932	82.29%

(注)

(1) 現行基本計画前の開発水量とは、現行の基本計画の策定前に完成した施設による開発水量をいう。

(2) 開発水量は、現行の基本計画に基づいて計上した。

(3) 開発水量は、水道用水及び工業用水の最大水量と農業用水の夏期かんがい期平均水量を合計したものである。

(4) 供給目標量は、供給が可能と見込まれる都市用水の水量で、計画当時の流況を基にしている。なお、括弧書きの水量は、近年20年に2番目の規模の渇水時における流況を基にしている。

(5) 機構のシェア以外の部分は、国の直轄事業及び府県の補助事業によって建設を行う施設により利用可能となる開発水量である。

川上ダム建設事業の概要

1. 事業の目的

洪水調節

川上ダム地点における計画最大流量850m³/sのうち780m³/sの洪水調節を行い下流の洪水流量を低減します。

新規利水

伊賀市の水道用水として最大0.358m³/s(30,919m³/日)の取水を可能とします。

流水の正常な機能の維持

前深瀬川及び木津川の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図る。また、既設ダムの堆砂除去時の代替補給を行います。

※既設ダム

高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム
比奈知ダム

2. 事業の概要

◇ 川上ダム

ダムサイト位置

左岸 三重県伊賀市青山羽根
右岸 三重県伊賀市阿保

型式 重力式コンクリートダム
堤高 84m(堤頂 E.L. 282.0m)
集水面積 約54.7km²
湛水面積 約 1.04km²
総貯水容量 約31,000,000m³
有効貯水容量 約29,200,000m³

◇ 工期

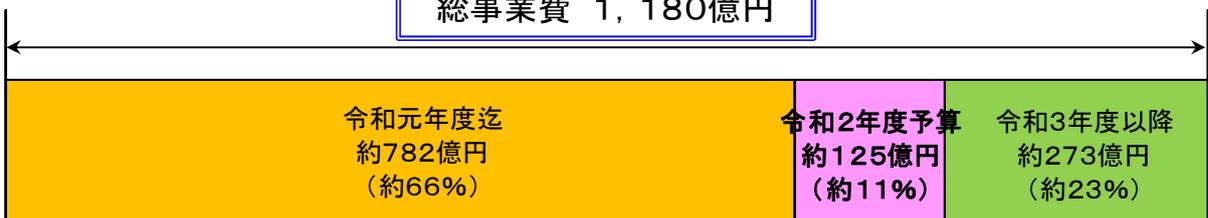
昭和56年度から

令和4年度までの予定



3. 事業費

総事業費 1,180億円



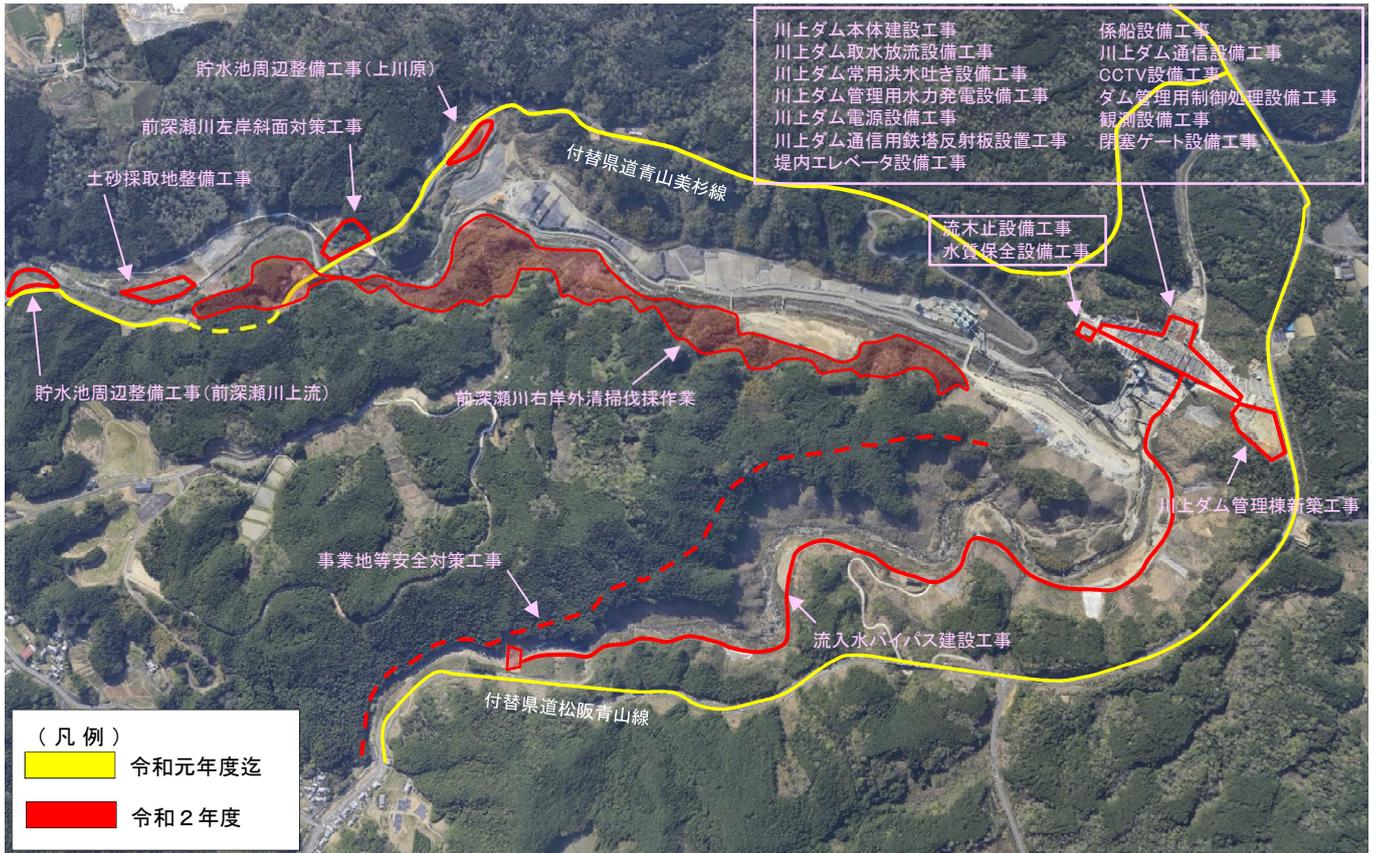
4. 令和2年度の事業概要

ダム本体工事、放流設備工事、流入水バイパス工事、水力発電・電源設備工事、管理棟工事、管理設備工事、周辺整備・斜面对策工事、周辺設備・斜面对策工事、関連工事の調査・測量・設計、環境保全対策及び水理水文調査等を実施する。

施工状況写真(R2.5末時点)
ダムサイト(本体建設工事)



令和2年度実施の工事



川上ダム建設事業工程

項 目	平成28年度まで	平成29年度	平成30年度	平成31年度 ／令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
付 替 道 路	[Bar]						
工 事 用 道 路	[Bar]						
転 流 工		[Bar]					
基 礎 掘 削			[Bar]				
仮 設 備			[Bar]				
[購入骨材運搬]			[Bar]		[Bar]		
基 礎 処 理				[Bar]	[Bar]	[Bar]	
堤 体 工・堤 頂 工				[Bar]	[Bar]	[Bar]	
管 理 設 備				[Bar]	[Bar]	[Bar]	
試 験 湛 水						[Bar]	[Bar]

※ 付替道路は、平成29年11月にはすべて供用開始
 ※ 工事用道路のうち、貯水池外の道路は完成

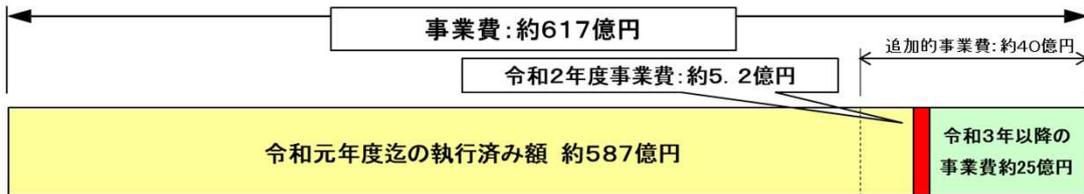
丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備

○事業の廃止に伴う主な整備内容

約40億円

(事業の廃止に伴い追加的に必要となる工事が完了する令和9年3月31日をもって精算し確定する予定)

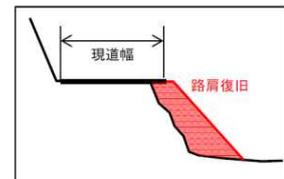
- ・工事で損傷した道路の原形復旧・機能回復
- ・工所用仮設備や調査施設等の撤去
- ・追加工事実施のための測量設計
- ・事業用地保全(事業用地内の落石・倒木の処理及び冬期の除雪等)など



令和2年度の実施内容

事業廃止に伴う整備となる現県道の機能回復工事等を実施。

令和2年度 事業費 約5.2億円



丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備工程

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
工事で損傷した道路復旧 工所用仮設物撤去	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
撤去(調査施設、電気通信設備等)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
事業用地保全 (事業用地内の落石・倒木の処理 及び冬期の除雪等)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

施設の管理 ～安全で良質な水を安定して安くお届けするために～

確実な施設機能の確保と計画的な施設の整備

施設の巡視・点検

日常的に施設の巡視やダム堤体観測などを行い、施設の状況を的確に把握しています。



堤体内での漏水量の測定



AR（拡張現実）を使った操作支援

設備の点検

電気通信・機械設備の点検は、設備の損傷や性能・機能低下等を発見するために実施するとともに、点検結果を継続的に蓄積して適切な整備計画・実施の資料として活用し、機能維持と信頼性の確保を図るために実施しています。



管理用水力発電設備の点検【布目ダム】

設備の整備

設備の整備は、点検によって発見された機能低下、故障や損傷などを正常な状態と比較した「健全度」及び「経過年数」や「故障頻度」などを総合的に評価してライフサイクルコストを考慮し優先度を定め設備機能の確保を目的として実施しています。



非常用洪水吐きゲート整備（水密ゴムの交換作業）【日吉ダム】



ポンプ設備の点検【正運寺川利水施設】

ストックマネジメント

ダムの安全性や機能を長期にわたり保持するため、3年毎に定期検査を行うとともに、管理開始から30年経過したダムでは総合点検を行っています。総合点検等の結果から、ダムを構成する設備等毎の中長期的な維持管理方針を定めたダムの長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行っています。



ダム定期検査の実施状況【高山ダム】

設備の更新

設備の更新は、設備の整備を実施していても、設置した時点と比較して設備の性能等が低下して、信頼性、安全性が維持できなくなった場合にコスト削減を考慮しながら正常な設備機能の確保を目的として実施しています。



放涼扇形設備更新（職員による機能確認）【比叡ダム】

危機への備え

防災業務計画等の策定

震災、風水害、水質事故等、様々な災害への対策を定め、これに基づく資機材の備蓄や訓練を行っています。また、国民保護法に基づく業務計画を定め、国、地方公共団体その他の機関と連携して、国民保護措置等の的確かつ迅速な実施に万全を期しています。

大規模災害等に対応するための日常の訓練

国や利水者、警察や消防などの各機関と連携した洪水対応演習、地震防災訓練などを日頃から実施し、洪水や大規模地震などの自然災害や水質事故に備えています。



淀川本型における訓練の実施状況

耐震性能の強化

耐震性能の強化を図り、安全性への信頼を高めるために、大規模地震に対する耐震性能の照査や地震リスク評価の結果を踏まえ、計画的に耐震対策を検討、実施しています。



耐震対策の検討

琵琶湖開発施設の管理

【管理の目的】

琵琶湖開発事業で整備された施設の操作や維持・修繕などの業務を行い、琵琶湖周辺の治水と安定した水道用水・工業用水の供給を行っています。

◇治水対策

琵琶湖周辺の浸水被害の軽減と下流淀川の洪水流量を低減しています。

- 湖岸堤・管理用道路：総延長50.4km
- 内水排除施設（排水ポンプ場）：14ポンプ場



◇利水対策

水道用水最大30.169m³/s、工業用水9.831m³/sの供給が可能です。

- 瀬田川洗堰バイパス水路により、下流域への放流量(水量)をきめ細かく調節します。



◇環境保全

湖岸堤に自然豊かな前浜を創出し、琵琶湖の水辺環境の保全に取り組んでいます。



地域の皆さんと連携して湖岸清掃や自然観察会イベントなどを行っています。

正蓮寺川利水施設の管理

【管理の目的】

阪神地区の都市用水8.5m³/s(水道水5.195m³/s、工業用水3.305 m³/s)を確保するため、淀川から最大22.0m³/sを取水し、正蓮寺川及び六軒家川に分水しています。



平成30年7月豪雨における一庫ダムの治水効果

淀川水系猪名川の一庫ダム流域では降り始めの5日2時から8日2時までの総雨量が550.9mm(流域平均累計雨量)となり、管理開始以降最大の降雨量を記録しました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒626立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約76% (毎秒約481立方メートル) を低減させ、同時刻における放流量を毎秒149立方メートルとしました。また、操作ルールに基づき、洪水量を減少させ、ダムが満杯に近づく中でも、流入量を上回る放流量とならないよう、6日13時5分から異常洪水時防災操作を開始しました。この操作は、管理開始(昭和58年4月)以降初めてとなります。

この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪約13杯分(約1,622万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、洪水ピーク流量の発生時刻を約19時間遅らせて避難時間等を確保するとともに、ダム下流の多田院水位観測所地点(川西市多田院地先)では、約0.75m以上の水位低減効果があったものと推定され、ダムがなかった場合には洪水は堤防から越水し浸水被害が発生したものと想定されます。



洪水貯留開始前の貯水池の状況
(7月2日10時頃 EL135.84m)



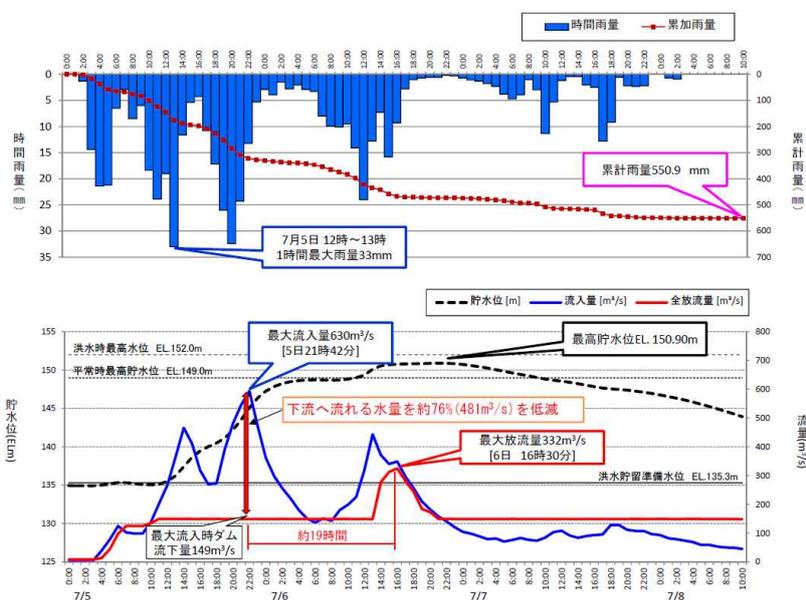
洪水時最高水位に近づく貯水池の状況
(7月6日17時頃 EL150.81m(上昇中))

多田院地点での水位低減効果



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

一庫ダム防災操作の状況グラフ



平成30年7月豪雨における日吉ダム治水効果

淀川水系桂川の日吉ダム流域では降り始めの7月3日21時から8日4時までの総雨量が492mm(流域平均累計雨量)となり、管理開始以降最大の降雨量を記録しました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒1,258立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約88% (毎秒約1,109立方メートル) を低減させ、同時刻における放流量を毎秒149立方メートルとしました。また、操作ルールに基づき、洪水量を減少させ、ダムが満杯に近づく中でも、流入量を上回る放流量とならないよう、6日4時5分から異常洪水時防災操作を開始しました。

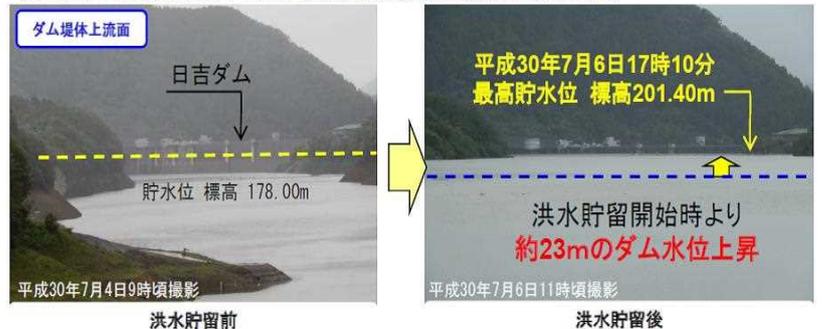
この操作は、最大のダム流入量を記録した平成25年9月16日の台風18号洪水以来となります。

この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪※約36杯分(4,337万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、洪水ピーク流量の発生時刻を約16時間遅らせて避難時間等を確保するとともに、ダム下流の保津橋地点(亀岡市保津町下中島地先)では、約0.76m以上の水位低減効果があったものと推定され、ダムがなかった場合には旧堤防高の6.10mより上昇していたと推定されます。

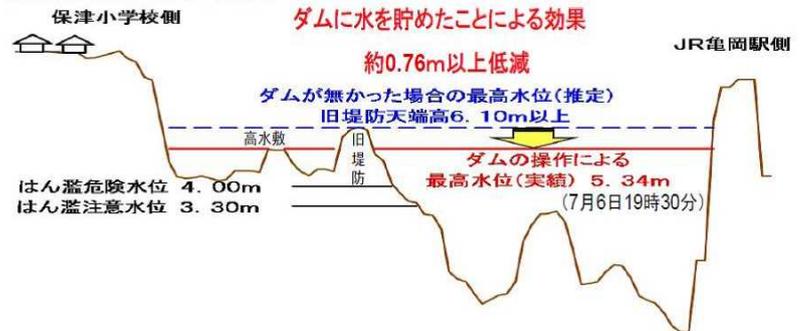


※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

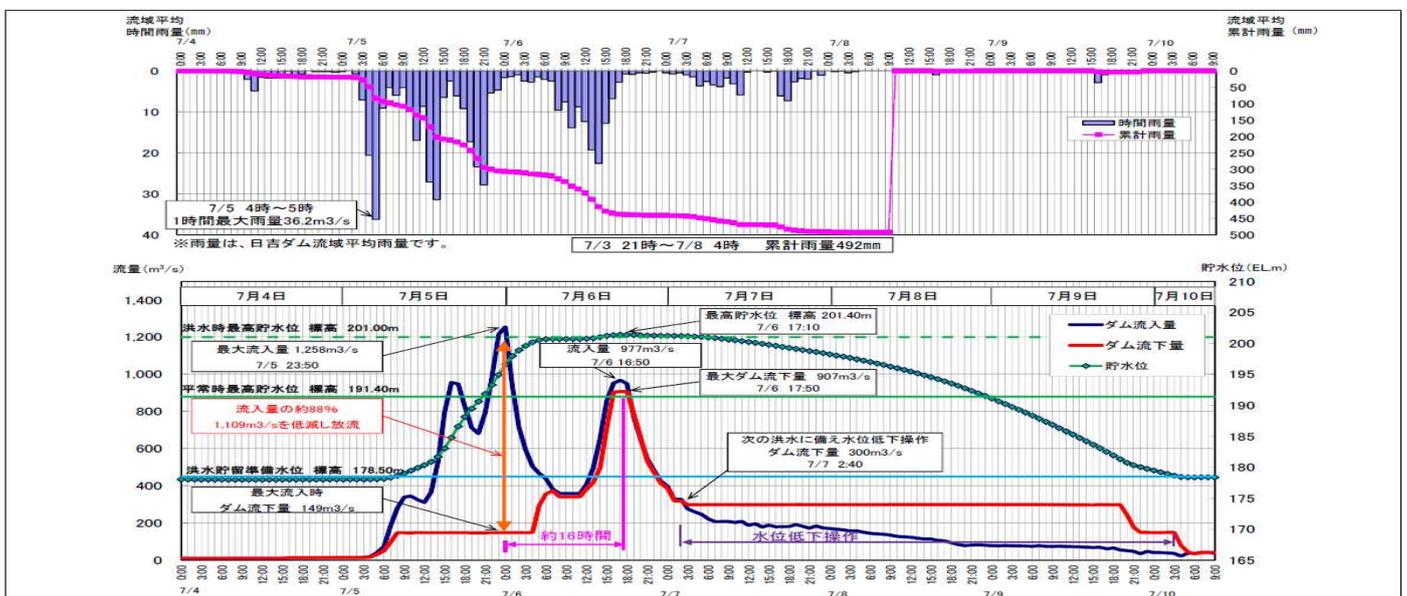
● 最大流入時に、ダム下流量を流入量の約88%を低減し、京セラドーム大阪約36杯分以上の水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。



● 保津橋地点(保津川下り乗船場付近)



日吉ダム防災操作の状況グラフ

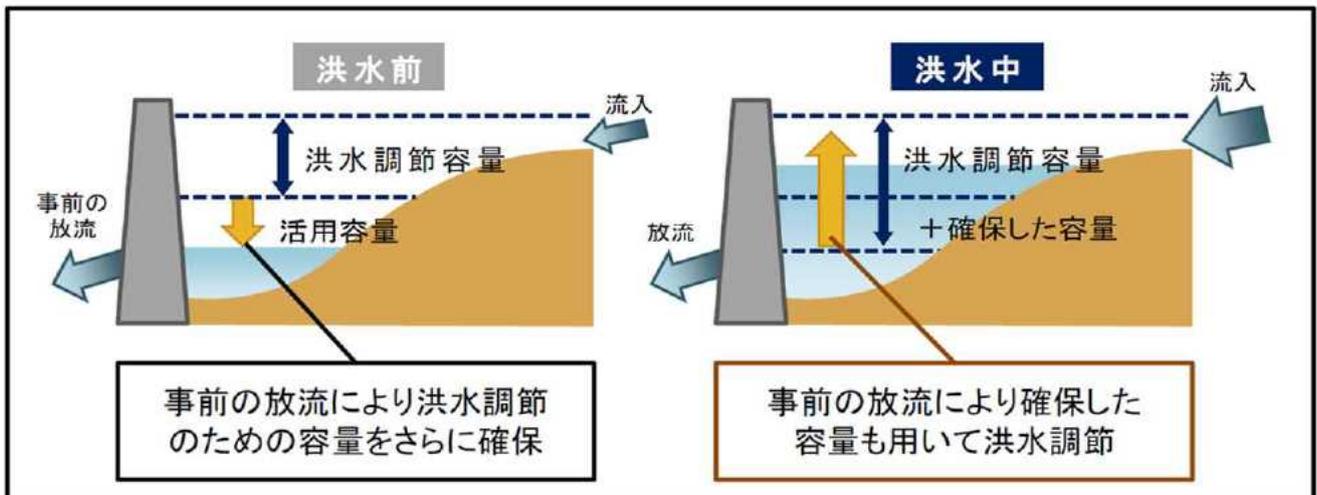


事前放流の運用開始（治水協定の合意）

水資源機構が淀川水系で管理する全7ダムにおいて、関係者と合意した事前放流ルールにより、**事前放流の運用を開始**します。

1.事前放流とは

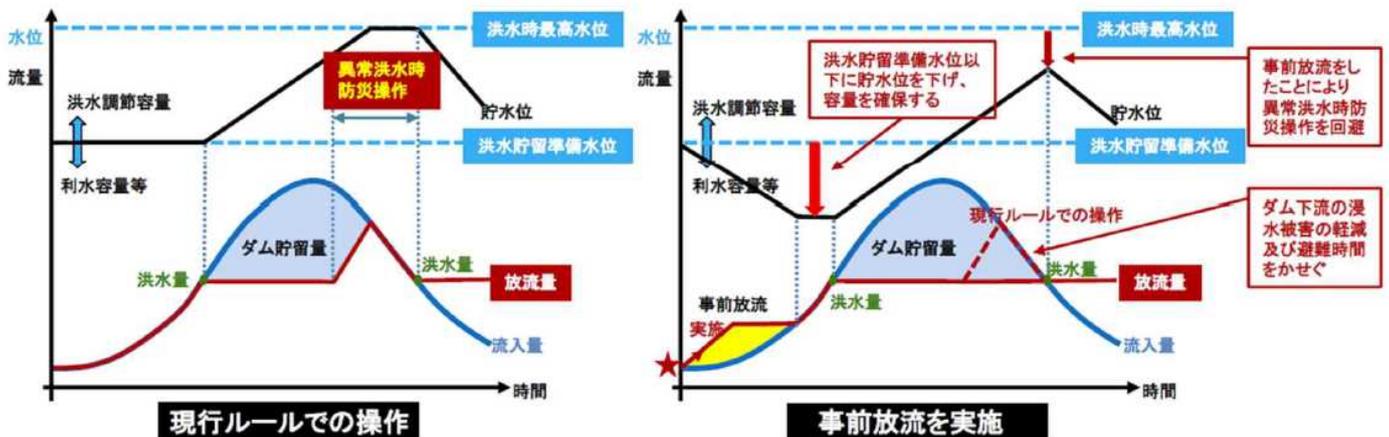
計画規模を上回る洪水が想定された場合に、ダムの容量の一部を洪水の発生前に放流し、洪水調節容量を一時的に増やす操作です。



2.事前放流の効果

洪水調節容量を使い切ることを回避（異常洪水時防災操作移行の回避）することや異常洪水時防災操作移行を遅らせることにより、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間を確保することができます。

<実施のイメージ>



さまざまな取り組み

環境

水質保全

総合的な湖沼水質管理の必要性

水資源機構は、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ために貯水池の水質保全に努めています。それぞれのダム流域の特性等により必要な対策は異なりますが、具体的には、貯水池内の水質保全とダムから放流する放流水の水質保全のため次のような施設を設置して運用しています。

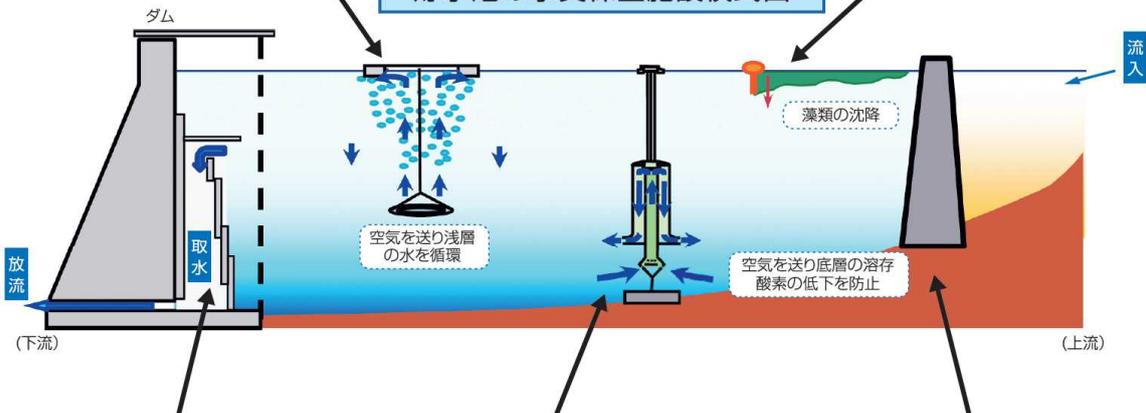
① 浅層曝気循環設備



② 分画フェンス



貯水池の水質保全施設模式図



③ 選択取水設備



④ 深層曝気設備



⑤ 副ダム



- ①【浅層曝気循環設備】 浅層の水を循環させて藻類発生を抑制します。
- ②【分画フェンス】 貯水池上流の流入河川などで発生しやすい藻類を沈降させて拡散を防止します。
- ③【選択取水設備】 水質の状況に応じて取水深を変更して、良好な水を下流に放流します。
- ④【深層曝気設備】 貯水池底に空気を送り底層の溶存酸素の低下を防止します。
- ⑤【副ダム】 貯水池上流端付近の副ダムにより貯水池に流入する栄養塩類・汚濁等を沈降させて流入を防止します。

環境保全

生態系に配慮した環境保全の取組み

水資源機構は、水資源開発施設の建設や管理を通じて、水の恵みを社会にもたらすとともに、自然の脅威から人々の生活を守ってきました。事業の実施にあたっては、自然との共生や良好な水環境の保全と創造に向けて、環境調査や環境保全対策を適切に実施するなど、環境保全に積極的に取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、希少野生動植物の保全対策の実施、ダム下流河川環境の改善を目的としたフラッシュ放流などを行っています。また、これらの環境保全対策の効果や環境への影響を監視するためのモニタリング調査を実施しています。

環境保全対策



オオサンショウウオの保護・移転
【川上ダム】



植物の移植による保全
【川上ダム】



フラッシュ放流及び土砂還元【一庫ダム】



オオサンショウウオ生育環境の保全
(瀬上路の設置)【川上ダム】



(実施前)

(実施後)

環境保全意識の向上のために

職員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、環境学習会を開催しています。この環境学習会には、地域の方々にも参加していただき、地域環境の保全に対する意識を共有するとともに、水資源機構の事業や環境保全の取組を理解していただくよう努めています。

環境学習会



水の調査隊 (小学生を対象とした学習会)
【川上ダム】



お魚里帰り大作戦 (ピオトープに棲んでいるフナやコイを琵琶湖へ放流)

水源地域振興

木津川ダム総合管理所の事例

木津川ゴレンダムがデザインされた風景印
 “風景印”とは各地の郵便局の消印のことです。
 水源地訪問の思い出にいかがですか？

重要！風景印は直径約3.7cm。宛先、宛名の記入ではこの大きさを空けて下さい。

重要！布目以外は、郵便局の窓口で「風景印希望」とお伝え下さい。切手が必要です

高山ダム 高山郵便局 京都府南山城村田山
 絵葉書あります♪@高山ダム管理所近くの「南山城村自然の家」へどうぞ！

布目ダム 東山郵便局 奈良県山添村 峰寺
 おしゃれな専用の投函ボックスもあり♪
 郵便局西隣の大矢商店様に依頼すると土口でも風景印を手配可能です(後日郵送)♪また地元元づくりグループ「つながりLab.」作成の絵葉書もどうぞどうぞ♪

室生ダム 現在、風景印作成のご検討中♪

比奈知ダム 国津郵便局 三重県名張市長瀬
 絵葉書の常時取扱い、まだありません

比奈知郵便局 三重県名張市下比奈知
 比奈知ダム完成前からあるので青蓮寺ダム♪

青蓮寺ダム 絵葉書の常時取扱い、まだありません

名張郵便局 三重県名張市 栄町(名張駅前)
 駅伝大会参加者向け限定絵葉書(非売品、ダム管理所作成)

マラソン大会参加者向け限定絵葉書(左)とサンプル(右)(非売品、ダム管理所作成)

日吉ダム管理所の事例

水源地域の活性化に向けて

日吉ダム水源地域ビジョン連絡会

京都府、南丹市、京都市、地元関係機関等による「日吉ダム水源地域ビジョン連絡会」を開催し、イベント等の情報交換を行い、連携強化に努めている。



地元関係機関との共同作業

ダム湖周辺では、不法投棄が多く、日吉ダム管理所では、毎週の巡視を行うとともに、水源地域ビジョン連絡会員による清掃活動を毎年実施。



地域との連携による新たなイベント等の開催

日吉ダム管理所において、日吉町観光協会主催の婚活イベントを開催



日吉ダムでの地元地域との連携・交流イベント

夏 「ひよし夏祭り」の協賛イベントとして、日吉ダムでは、ゲート室の一般公開を開催。



秋 「ひよし水の杜フェスタ」では「ダム湖での巡視体験」(天若湖からダムを見学)、パネル展示等を開催。



最近のトピックス

川上ダム堤体コンクリートが20万m³打設を達成しました

川上ダムでは、堤体コンクリートの総打設量が令和2年5月22日に20万m³（全体の約44%）を達成しました。

ダム完成に向けて、今後も安全第一に施工を進めてまいりますので、地域の皆さま、関係機関の皆さまには今年度も引き続きご理解とご協力をよろしく申し上げます。



川上ダム建設所HPではダムサイトのリアルタイムカメラの映像(遠景)がご覧いただけます。公式Twitterではコンクリート打設の動画や環境調査の情報等、各課職員からの様々なつぶやきが発信されていますので是非アクセスしてみてください。

【川上ダム建設所HP工事進捗カメラ】

【川上ダム建設所公式Twitter】



<https://kawakamidam-cam.arksystem.jp/>

https://twitter.com/jwa_kawakami

比奈知ダムが各種メディアで紹介されました

比奈知ダムがNHK津放送局「まるっと！みえ」（令和元年10月3日）で、市内にある『とれたて名張交流館』において、市民の紹介で比奈知ダムへ突然訪れたHNKキャスターにダム堤体内などの案内とダムの役割などを説明した内容が、『名張にある魅力ある場所』として紹介されました。本放送は、令和元年10月21日にNHK名古屋放送局ラジオ『夕刊 ゴジらじ』で東海地域へ放送されたほか、令和2年2月7日にNHK名古屋放送局『さらさらサラダ』で一部編集され東海・北陸地域へ再放送されました。

そのほか、アドバンスコープ（名張市のケーブルTV）ニューストピックス(令和元年11月14日)で、ダムの必要性や役割を説明した内容が市民向けに紹介されました。



放映内容

最近のトピックス

一庫ダムエドヒガン桜植樹プロジェクトへのご協力に対するお礼

一庫ダム管理所では、「水・人・自然の調和」を目指して、地域の方々に愛されるエドヒガン植樹活動を実施しています。

その一環として令和元年9月より「一庫ダムエドヒガン（桜）植樹プロジェクト」の寄附金募集を行い、多くのみなさまからご賛同をいただきました。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

この寄附金を活用させていただき、令和2年2月28日に「溪の桜を守る会」様のご指導・ご協力のもと、一庫ダム管理所職員により心を込めて30本の苗木をダム下流広場に植樹しました。



放流動画『美放流』のご紹介

当機構では、管理するダム施設の放流動画「美放流」をYoutubeに公開しています。

また、機構HPでも各ダムにおける放流動画を掲載しており、ドローン等を使用した迫力ある空撮映像を掲載しておりますので、是非ご覧ください。



こちらのQRコードを
読み取ってご覧ください



<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/yakudachi/movie/index.html>

淀川本部管内事務所の所在地

関西・吉野川支社（淀川本部） 〒540-0005 大阪市中央区上町 A 番 12 号 TEL.06-6763-5182		木津川ダム総合管理所 〒518-0413 三重県名張市下比奈知 2811-2 TEL.0595-64-8961	
中津川管理室 〒554-0001 大阪市此花区高見 1-10-46 TEL.06-6462-7701		高山ダム管理所 〒619-1421 京都府相楽郡南山城村大字田山宇ツルギ 43 TEL.0743-94-0201	
川上ダム建設所 〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 TEL.0595-52-1661		青蓮寺ダム管理所 〒518-0442 三重県名張市中知山 1-166 TEL.0595-63-1289	
丹生事務所 〒529-0522 滋賀県長浜市余呉町坂口 819 TEL.0749-86-3800		室生ダム管理所 〒633-0315 奈良県宇陀市室生大野 3846 TEL.0745-92-2320	
琵琶湖開発総合管理所 〒520-0243 滋賀県大津市堅田 2-1-10 TEL.077-574-0680		布目ダム管理所 〒630-1234 奈良県奈良市北野山町 869-2 TEL.0742-94-0231	
湖北管理所 〒521-0011 滋賀県米原市中多良 1-2 TEL.0749-52-5160		比奈知ダム管理所 〒518-0412 三重県名張市上比奈知字熊走り1706 TEL.0595-68-7111	
湖西管理所 〒520-1623 滋賀県高島市今津町住吉 1-3-4 TEL.0740-22-1500		一庫ダム管理所 〒666-0153 兵庫県川西市一庫字唐松 4-1 TEL.072-794-6671	
湖南管理所 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091-58 TEL.077-568-4102		日吉ダム管理所 〒629-0335 京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷 68 TEL.0771-72-0171	



水がささえる豊かな社会



独立行政法人水資源機構
 関西・吉野川支社淀川本部

〒540-0005
 大阪市中央区上町A番12号 上町セイワビル内

TEL.06-6763-5182(代)
<https://www.water.go.jp/kansai/kansai/>



令和2年に



青蓮寺ダム・正蓮寺川利水は 管理開始50年を迎えます

